

いくさ かな つた はな

戦の悲しさ伝える花

やくせんねんまえ みなもとのよりととも そうだいしょう
 約千年前、源 頼朝を総大将とする
 げんじ たいらのきよもり へいけ
 源氏と平 清盛が総大将の平家という
 ぶしたち
 武士達が戦をしました。

源氏と平家は何回も戦をしました。が、
 いちのたに かいがん りっぱな よろい つ
 一の谷という海岸で、立派な鎧を付け
 お
 た平家の武士を追いかける源氏の武士
 くまがいなおさね
 に熊谷直実という人がいました。直実
 おお てがら つよ
 は多くの手柄をたてた強い武士でした。

直実は、その武士を捕まえました。が、
 かぶと と じぶん
 兜を取ってみると、そこには、自分の
 むすこ たいらのあつもり おい
 息子のよう若い平 敦盛（清盛の甥）
 がいたのです。

敦盛を追いかける
 直実（背中に付け
 ほろ
 ているのが母衣）
 「一の谷合戦図屏風」より
 （埼玉県立歴史と民俗の
 博物館提供）



直実は、^{まよ}迷いましたが、^{なみだ た}涙を堪えながら
^{うち と}敦盛を討ち取りました。

直実は、^{せつしょう むな}殺生の虚しさに^{きづき}気づき、戦の
^{あと ぼう}後にお坊さんになり、敦盛など戦で亡く
^{ひとびと くよう}なった人々を供養しました。

^{くまがいそう}「熊谷草」は、直実がつけていた母衣^{ほろ}

^{ゆうしゅう}(優秀な武士が付ける^つ弓矢をよけるもの)に、



熊谷草

^{はな すがた に}花の姿が似ているので、

^{なづ}名付けられました。

^{おなじ}同じ姿ですが、^{ちい}小さな

^{あつもりそう}な花を「敦盛草」といい

ます。戦の^{むな}虚しさを今^{いま}

^{つた}に伝える花ですね。

百花園探検カード No013

制作 百花園サポート士隊

墨田区東向島 3-18-3 向島百花園内

協力 レストラン カタヤマ

墨田区東向島 4-2-6 3610-1500

<http://dabintyo.com>

後援 墨田区教育委員会